



『しまの宝』

第14号 R2.10.16発行

文責：校長 日高 洋子

久賀っ子の心を 見つめる教育週間

1学期に予定されていた全県下の取り組みである心を見つめる週間が10月13日(火)から10月19日(月)まであります。

期間中は校長による講話、全学級による道徳授業の公開、ボランティアによる読み聞かせ会、があります。また、期間中は朝から全校児童生徒の校門でのあいさつ運動を予定していますので、学校の前をお通りの際は、お気をつけください。

この期間中は特に命の大切さや、思いやり、助け合い、感謝といった、いつもは当たり前のようなことについて、深く考えていこうとする取り組みです。この期間中は学校を開放していますので、いつでも学校にお越しいただき、児童生徒の頑張っている姿をご覧いただけたらと思います。

記録会で成長！

10月13日(水)小体連代替記録会が奥浦小学校で開催され、小学生5人が交流を兼ねて奥浦小学校へ行ってきました。

行く前は、不安でしょうがなかった5人ですが、いざ記録会が始まると、自分の目標記録突破を目指して、よく頑張りました。琉嘉さん、福太郎さん、蒼士さんの一生懸命な姿に、会場にいるみんなが感動し、大きな拍手が起こりました。「敢為の精神」(自分にとって、かなり難しいと思っていたことに挑戦すること)で、見事にやりきった3人を誇りに思います。3、4年生も記録を取らない公開競技(50m走)に参加し交流を深めました。奥浦小学校から奥浦港まで、満足感や達成感を話しながら歩きましたが、子ども達はもうすでに次の挑戦について考えていました。逞しく育つ子ども達の姿は、職員の励みにもなります。

次は、11月に崎山小学校との交流があります。さらに大きく伸びてくれるでしょう。



↑5年生の蒼士さんは高跳びに挑戦しました！



↑福太郎さんはソフトボール投げ、琉嘉さんは800mに挑戦しました！

侑都さんと南那美さんは応援も頑張りました。奥浦小学校の1年生から4年生と一緒に、共同で、頑張る



5年、6年生を応援しました。50m走では自信があった侑都さんは、本来の力を発揮し、南那美さんは、不安を乗り越えて思い切り走り通しました。5人にとって記憶に残る大会になりました。

駅伝大会に出場しました

小学生より先に、中学生は10月7日に五島市中総体駅伝競走大会が開催されました。男子は残念ながら他校との合同チームが組めずに、優樹さんがロードレースに参加しました。ロードレースは夏から駅伝大会出場の選手と一緒に、厳しい練習をしてきた生徒が出場します。駅伝とは違って「たすきリレー」がないため、個人のベスト記録を狙って、力を出し切るために誰もが必死です。その中でも、優樹さん、紗菜さんは持ちタイムが速い人たちのグループで大健闘しました。



大会の取り決めて、コロナ感染対策として大きな声での応援はしない、というルールがあったにもかかわらず、頑張っている2人を見て思わず、引率の職員で大きな声を出して応援してしまいました。

レース後に「応援の声が聞こえていた！」と2人に言われて、少し恥ずかしいような、申し訳ないような気分になりました。しかし、2人の健闘には、大きな拍手です。駅伝で走る2人に勢いがつきました。

駅伝の部では、嵯峨島中、玉之浦中との合同チームで、潤奈さん、南帆さんが出場しました。



3区で出場した南帆さんは苦しい中、応援団の近くに来ると、笑顔になっていました。



潤奈さんは合同チームのアンカー5区を任せられました。自分で納得のいく走りができたと満足そうでした。壽之亮さん、彩さんの応援も大きな力になりました。

これからの行事予定

2学期も半分が過ぎようとしています。残りの主な行事をお知らせいたしますので、子ども達へのお声かけなど、よろしくお願いいたします。

- *10月21日(水)~10月22日(木)
中間テスト(中学生)
- *10月28日(水) 青少年劇場(中学生)
- *10月29日(木) 職場体験学習(中学生)
- *11月7日(土) 育成協 久賀島探訪
(小学生)
- *11月10日(火) 崎山小・崎山中交流学习
(全校児童生徒)
- *11月22日(日) 久賀っ子学習発表会
↓
島内親善球技大会
- ※11月27日(金) は振休で学校は休みです。